

専用のビジネスカードで立替払いをなくし、
これまでにない経費精算を実現する
クラウド経費精算サービスです。

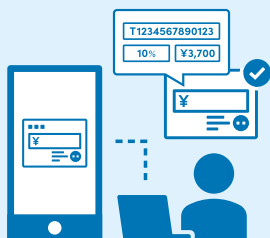
経理部門の課題を解決する

これまでにない経費精算を実現

経費精算に関する業務を効率化するだけでなく、
全社員の経費の支払い方法を専用のカードに変えることで、
企業から立替経費をなくしていきます。

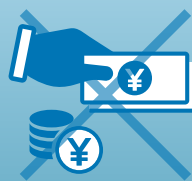
多くのアナログな対応が発生している
経費精算に関する経理業務の課題を解決し、
企業の月次決算を加速します。

経費精算業務の効率化



- ・オンライン申請
- ・領収書のデータ化
- ・インボイスの要件の自動判定
など

立替経費をなくす



- ・全社員にカードを発行できる
- ・領収書とカード明細の金額突合
- ・高度なセキュリティ
など



月次決算を加速する

Bill Oneの経費精算



* Sansan株式会社が規定する条件を満たした場合のデータ化精度

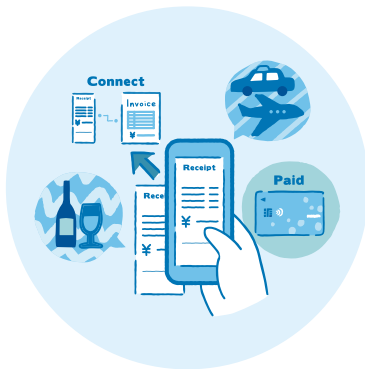
経費精算に関する経理業務の課題を解決し、
企業の月次決算を加速します

3つのメリット



01 経費の立替払いをなくせる

全社員がBill Oneビジネスカードで経費を支払うことで、立替経費をなくしていくことができます。それに伴って、従業員口座への入金や小口現金管理といった業務も不要になります。リアルタイムで利用状況が確認できる上に、全社員にクレジットカードを配布することによるリスクに備えた機能も搭載しています。



02 オンラインで経費精算を完結できる

領収書の受け取りから承認、仕訳、保管まで、経費精算に必要な対応をオンラインで完結できるようになります。また、クレジットカードで支払うことができない経費にも対応しています。自動で精算処理を促す機能により、月末・月初といった締め日の前後に経理部門の対応が集中しない環境を構築できます。



03 法対応と業務効率化を実現

電子帳簿保存法やインボイス制度など経費管理に関する法制度にBill Oneが対応していくことで、法改正のたびに発生する業務負荷を最小限に抑えられます。また、領収書のデータ化、確認・突合といった作業の自動化によって業務が効率化され、経理部門に限らず、企業全体の生産性が向上します。

代表的な機能



領収書のデータ化
(精度:99.9%*)



領収書とカード明細の
金額突合



事前申請



申請内容の
自動チェック



領収書提出の
リマインド通知



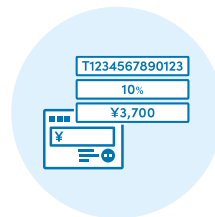
領収書の
アップロード



スマートフォンアプリ
(iOS・Android 版)



交通系モバイルアプリからの
明細連携



適格請求書・適格簡易請求書の
要件を自動で判定



電子帳簿保存法に対応



仕訳入力



カードの利用制限
(金額、用途など)



本人確認サービス
(3Dセキュア2.0)



カードの即時ロック



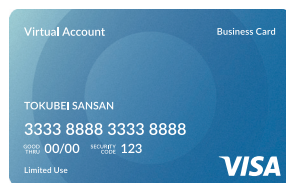
Amazon ビジネス連携

* Sanson株式会社が規定する条件を満たした場合のデータ化精度

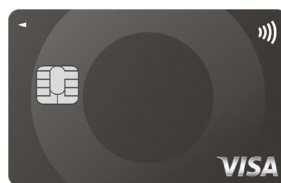
※ AmazonおよびAmazon.co.jpは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

Bill Oneビジネスカードの特長

立替経費をなくすために、
全社員で安心・安全に使えるように設計されている法人カードです。



バーチャルカード



リアルカード

※ 3Dセキュア2.0対応 ※ 本カードの利用には、Bill Oneの契約が必要です



年会費、発行手数料
無料



1か月当たりの利用限度額
最大1億円



カード発行枚数
上限なし

基本情報

カード名称	Bill Oneビジネスカード
ブランド	VISA
カードタイプ	クレジットカード(クレジットカード加盟店で利用可能)
発行形態	バーチャルカード、リアルカード ※ 3Dセキュア2.0対応
カード発行枚数	上限なし
年会費・発行手数料	無料
1か月当たりの利用限度額	最大1億円

支払い方法・支払い期日
口座振替:当月末締め翌月20日
(金融機関が非営業日の場合、翌営業日)

※ 設定完了までは銀行振込(当月末締め翌月15日)となります。

価格・導入支援

料金体系

処理する経費精算の件数に応じて、個別にお見積もりいたします。
ぜひ、お気軽にお問い合わせください。

初期費用

Bill Oneで経費精算を行うための環境を構築するためにかかる費用です。専任の担当者による導入・運用支援も行います。



年額費用

Bill Oneで処理する経費精算の件数に応じて、最適な料金を設定します。発行できるカードの枚数や領収書の保存可能件数に制限はありません。

契約後の導入・運用支援について

企業ごとの事情や業界ごとの慣習に応じて、
最適な業務フローを再構築します。



業務内容の棚卸し



業務フローの最適化



運用の定着支援

専任の担当者が導入から定着までサポートします

同行・他行宛てを問わず、 振込手数料を月500回までキャッシュバック

Bill One Bank

powered by Sansan

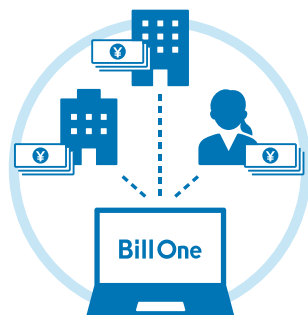


Bill One Bankは、ドコモSMTBネット銀行の銀行代理業者として取引の媒介を行うサービスです。
経理AXサービス「Bill One」と一緒に利用することで、
費用や売上に関する証憑書類の処理だけでなく、入金や支払いの業務までBill Oneで完結できます。



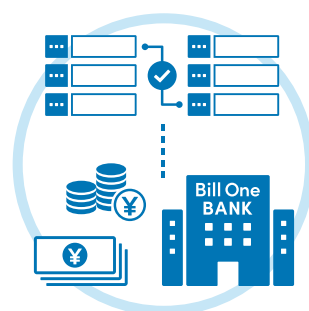
振込手数料が 実質無料

同行・他行宛てを問わず、振込手数料が月500回までキャッシュバックされます。コストとして定期的に発生していた振込手数料を削減できるだけでなく、取引先との振込手数料を抑えるための調整や交渉、複数の銀行口座を管理する手間をなくせます。



取引先や従業員への 支払いを効率化

Bill Oneと一緒に使うことで、請求書や領収書といった証憑書類の処理から取引先や従業員への支払いまで、日常的に発生している一連の業務を効率化できます。振込先に関する情報の管理やFBデータの作成などにも対応し、業務をワンストップで進められます。



リアルタイムで 入金消込を自動実行

Bill Oneでは、登録した請求先ごとに固有のBill One Bankのバーチャル口座番号を割り当て、その口座を振込先として請求書の作成・発行が行えます。確実に入金元が特定できるようになり、入金があるたびにリアルタイムで入金消込が自動実行されます。

※ 本プログラムの内容・条件などは、変更する可能性があります。

※ 前月に行った振り込みのうち、最大500回分の手数料がキャッシュバックの対象です。

※ 本プログラムの申し込みには、Bill Oneライセンスの契約が必要です。

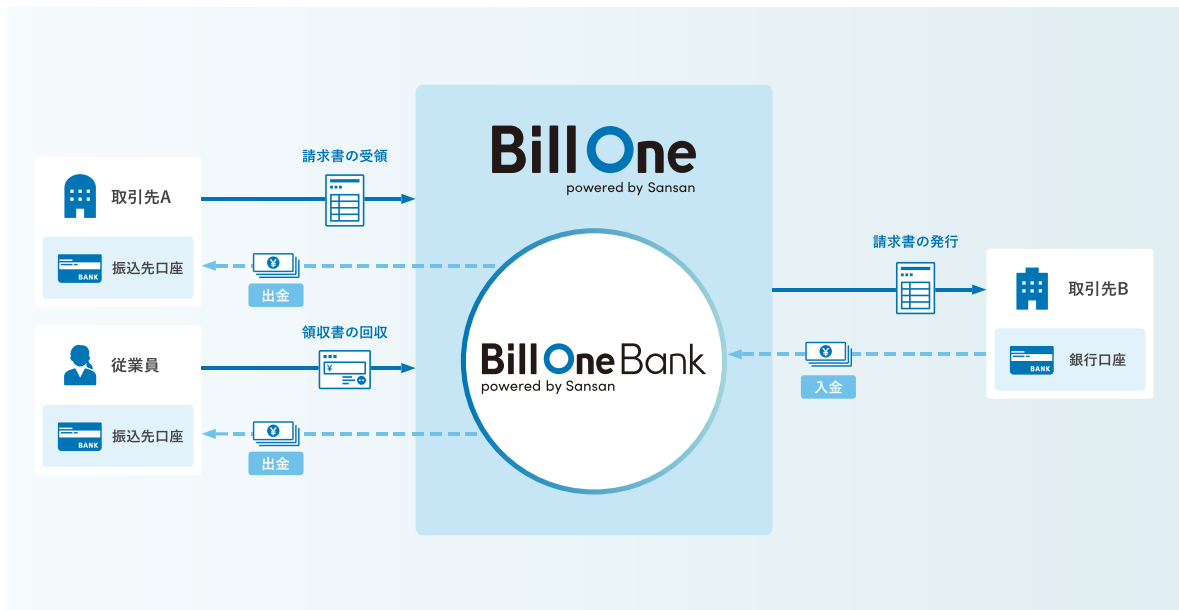
※ すでにドコモSMTBネット銀行の口座をお持ちの場合、本プログラムをご利用いただくには、その口座を解約し、新しくBill One Bankの口座を開設する必要があります。

※ 2026年2月26日以前にBill One Bankの口座開設の申し込みをしている場合、本プログラムをご利用いただくには、ドコモSMTBネット銀行からのお知らせを確認いただく必要があります。

入出金に関わる業務をなくせる

Bill One Bank

Bill One Bankの銀行口座を使って入出金を行うことで、
請求書や領収書といった証憑書類の処理から入出金の対応まで、
Bill Oneで業務を完結できます。



所属銀行	株式会社ドコモ SMTB ネット銀行
銀行代理業者	Sansan 株式会社
許可番号	関東財務局長(銀代)第480号
取扱業務	預金の受け入れ、為替取引を内容とする契約締結の媒介
営業日・営業時間	月曜日～金曜日 祝祭日を除く 10:00～18:00
URL	ドコモ SMTB ネット銀行規定一覧 https://www.netbk.co.jp/contents/company/userules/ ドコモ SMTB ネット銀行ディスクロージャー誌 https://www.netbk.co.jp/contents/company/ir/library/disclosure/ 銀行代理業・個人情報保護について https://bill-one.com/policy/

運営会社

商号	Sansan 株式会社
設立	2007年6月11日
上場市場	東京証券取引所 プライム市場
代表者	寺田 親弘
事業内容	働き方を変えるAXサービスの企画・開発・販売 (取得済特許: 第4408302号、第5109184号、第5224556号、第5263759号、第5312701号)
所在地	本社 〒150-6228 東京都渋谷区桜丘町1-1 渋谷サクラステージ 28F 関西支店 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜1-4-19 関電不動産堂島浜ビル 3F 福岡支店 〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲3-7-24 WeWork ゲイツ福岡 11F 中部支店 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-13-20 栄センタービル 3F
URL	https://jp.corp-sansan.com

BillOne

powered by Sansan

<https://bill-one.com/exp/>

お問い合わせ先

bill-one@sansan.com



0800-100-9933

デモ依頼やお見積もりについては、お気軽にお問い合わせください

sansan